

Progress

—素直・謙虚・感謝—

加古川市立浜の宮中学校

第1学年 学年通信

令和7年 7月 24日

車いすバスケットボール体験

6月からバリアフリーや共生社会について考えてきました。校区内でバリアフリーやユニバーサルデザインがある場所をあげ、どんな工夫がされているのかを話し合ったり、自分たちが調べたことを新聞にまとめたり、クラスで発表会をしたりして、7月10日(木)の車いすバスケットボール体験に向けて、学習を深めました。

講師の方々の紹介後、介助用と競技用の車いすの説明、全員が競技用の車いす体験、次にトラベリングをしないようにドリブル体験、クラス対抗の試合の後、代表チーム7人対ひめパラ選手1人の試合、質疑応答をしました。実際に体験し、講師の方からの話を聞いてしっかりと考え、学び、大きな歓声と笑顔があふれる2時間となりました。

体験の準備から司会、後片付けまで、各クラスの保体委員が役割分担をして進行をしてくれました。左の感想文にも書かれているように、みんなが行事を楽しむために、前々から準備をしてくれている人がいること、当日もそれぞれの役割をしっかりと果たしてくれているからスムーズに行えていることを、一人ひとりが理解し、感謝をしなくてははいけません。そして学年全員が協力をしながら、これからも各行事を進めていきたいと思います。

ほくは、ひめパラ授業をして学んだことが色々あります。それは、車いすに乗っているから生きているのがつらいじゃなくて、車いすに乗っていてもバリアフリーやユニバーサルデザインをきちんと使っていれば、これから障害を持っている人も、もっと暮らしやすくなっていくんじゃないかと思えます。二つ目は、河石先生のお話を聞いて、「河石さんは車いすになってもポジティブに生きているんだな〜」と思って、僕もポジティブにこれから生きていこうと思いました。僕はおいさつも頑張れた人じゃないかと思えます。保体委員になってくんなにも大変なんだと、この体で感じました。行事を楽しむのも、裏には準備をしている人がいたり、行事を進める先生や友達にみんなも頑張っているんだと思えます。これからも行事を一つ一つ頑張って、大事にしていきたいと思えました。



今日、車いすバスケットボールを体験して、障害がある人たちが、工夫すれば、いろんなスポーツが楽しめることを知りました。今まで、きょうぎ用の車いすに、のったとは、なかつたので、回転のしやすさや、ぶつかる、でも危険にならないように、工夫されていて、おどろきました。障害者のスポーツ会やパラリンピックを見る機会があまりなかつたので、これからは車いすバスケットボールをはじめとする、たくさんパラスポーツを見て、触れて、楽しんでいきたいと思いました。また、最後に、黒木先生のお話を聞く時間がありました。実際に障害のある方の普段の生活を聞いて、自分が普段何気なくしていることで、どれだけ幸せなことがわかった。今後、町中や身近なところで、障害のある人々を見かけやすいように、なにか困っていることがないか、なにか手伝えることがないかなど、積極的に声をかけていきたいと思いました。すごく良かったと思えた。今回のことで、たくさん学ぶことができてとてもよかった。



今日、パラスポーツの1つ、車いすバスケットボールを体験させていただきました。障がいを持つ方々に対する理解が深まりました。町中で困っている方がいたら、まず自分で手を貸したいと思えます。しかも、お話を聞いて、障がい者の方々の頑張る姿を見て、すごいと思はれるほどの、1日1日、一生懸命に頑張っている姿が、すごく心に残っています。周囲の人に助けられて、感謝の気持ちが深まったという話を聞いて、障がいを持って初めて気づくこともあるということを知ることができました。いよいよ車いすを体験して、みんなにそうむかえがけの気持ちで走ったり、回ったりできるということだけでも、夢中になって、たくさん練習をしたなと思いました。車いすバスケットを見た上で、とても興味がある、もっと詳しく知りたいと思ったので、調べてみようと思います。他にも、どんなパラスポーツがあるのか、自分たちでもできるのかなど、競技があるのが、面白いです。とても楽しかったです。いよいよ障がいをもつ方のお話を聞いて、自分ももっと気づいて生きたいと思えます。



【夏休み中及び2学期当初の予定】

7月25日(金)、28日(月)~31日(木) 補習 8:30~10:30 (1、2組教室)

希望者対象の補習です。基本的には自習で、分からないところは先生に聞いて理解を深めていきます。

8月19日(火) 学年登校日 8:20までに登校 (体操服登校 可)

※持ち物：上ぐつ、筆記用具、夏休みのしおり、提出物：課題一覧表参照

9月 1日(月) 始業式 8:20までに制服で登校

制服・頭髪など、身だしなみを整え、さわやかな2学期のスタートを!

①始業式、清掃 ②英テスト ③国テスト ④学活

※持ち物：上ぐつ、体育館シューズ、筆記用具、夏休みのしおり、ぞうきん1枚、赤ファイル、提出物

9月 2日(火) 課題テスト 給食開始(おはし、給食係はエプロン、マスク)

①社テスト ②数テスト ③理テスト ④学活 ⑤学活

9月 3日(水) 通常授業 生徒会専門委員会

9月19日(金)、20日(土) 市新人大会

2学期は、体育大会、コーラス大会などの行事があります。クラスの仲間と協力して、一つ一つの行事を成功させましょう。

今日、河石さんのお話で、「世界が障がい者の人たちがいかに楽に過ごせる世界づくりを
していても、人が人を支えていかないと」と
いう言葉を聞いて、ものすごく考えさせられ
た。「人」という字は人が人を支えるという意
味があって、どんな人もみんなと楽しく過ご
せるような取り組みを私もしたいと思った。

今日、こうして様々なことを知って、まずもう中学生なんだから「知らない」ですまさを
に、しっかり災害時などに車いすの介助方法を知って、いざというときにしっかり助ける
ことができるようにしようと思いました。最後の Q&A のときに、様々なことを知りまし
た。例えば、「日本には施設のバリアフリーはあるけど、心や考えのバリアフリーがまだで
きていない」こと、「行政が指示したから、一見整っているように見えるが、実は全然そん
なことない」ということがざらにあるということを知りました。衝撃でした。今まで気にし
てすらいなかったところにも、障がいがあることに驚きました。また、私は人生をもっと必
死に生きてみようと思いました。何となく生きているだけじゃなくて、いつ死ぬかもわか
らないからこそ、今命があることに感謝して、前向きに生きてみようと思いました。

車いす生活で苦しかったことや悲しかったこと、つらかったことなどあったと思いま
すが、それを乗り越えて自分の好きなこと、得意なことを磨いて、日本代表まで登って行
った姿がとてもかっこいいなと思いました。私も講師の方たちのように、どんなにつらく
てもあきらめずに何でもやってみて、その先にある最高の未来に近づけるように、部活も勉
強も全力で取り組んで頑張ろうと思います。また、そのために今自分がやるべきこと、自
分が好きで得意なことを見つけて、それを磨いていこうと思います。

日本はユニバーサルデザインなどはしっかりしているのに、人は全くだという言葉
を聞いて、確かにそうだなと思いました。理由は、よくイトーヨーカドーやスーパーの
駐車場へ行くと、車いす専用のところにとっても元気な人だけが車から出てきてい
たり、車いすの方を全然優先していなかったからです。

私は、車いすバスケットを初めて体験して実際に
競技用の車いすにのれるなんて思ってたので、
のることができてすごくうれしかった。私はどうい
選手の方より技術はないけれど、少し選手の方の
楽しい気持ちや力強い気持ちを感じることが
できたと思います。自分が体験すること
前よりも確実に世界が広がりました。選手の方の
あつい思いが話を聞いてもものすごく伝わり
ました。4組に話をしてくださったかもとさんの
今までの出来事を聞いて、さかさんと他の方も何か
つらかった思いをのりこえてこられたこと、車いす
バスケットがそれをしてくださったこと、そして、今の
時間を大切にすることを教えてくださったこと、今の
生活といつも通り過ごしていることは当たり前
じゃない、もしかしたらこの先障がいになっちゃう
かもしれない、だから、今の生活に対しての
思いをもう一度よく考えて過ごそうと
思いました。今回の体験で選手の方の
思い、私へのアドバイスを教えていた
だけたとしてもとても貴重な時間でした。



今回の講座のおかげで、パラスポーツにとっても興味がわいた。車いすの操作が難
しかったり、ディフェンスもうまくできなかったけど、すごく楽しかった。パラス
ポーツは普段注目されることが少ないけれど、もっとメジャーなスポーツ競技にな
ればいいなと思った。また、障がいを持つ方の生活がどれだけ大変なのかを知った。
障がい者専用の駐車場も絶対使っちゃいけないし、私たちがマナーを守らないとい
けないと思った。最近はユニバーサルデザインが多いけど、私たちがマナーを守ら
なければ本当に必要とする方が使えなくなってしまうから、1人1人が意識してよ
りよい社会を作っていきたいなと思いました。

質疑応答のときに河石さんが「日本はバリアフリーは世界トップクラス並みにい
いけど、人に関してはそうとは言えない。」と言っていて、日本人は見て見ぬふりを
しがちだから自分はそんなことせず、恥ずかしながら話しかけたいなと思いま
した。慣れてきたころが一番危ないと言っていて、どんなことでもそうなんだなと感
じました。私はこれから町の中で困っている人がいたら迷わず話しかけたり、自分
がもしそうなってもあきらめずに何かに挑戦したいです。河石さんと黒木さんと坂
本さんがとても親切で分かりやすかったので、とても嬉しかったです。